

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)クリーンケミカル株式会社高	階数	地上4F
建設地	大阪府高槻市成合南土地区画整理	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 予定	評価の実施日	2023年3月8日
敷地面積	2,983㎡	作成者	大和ハウス工業株式会社 流通一級
建築面積	734㎡	確認日	2023年3月8日
延床面積	2,033㎡	確認者	大和ハウス工業株式会社 流通一級



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	88%
③上記+②以外の	88%
④上記+	88%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

音環境	3.0
温熱環境	2.6
光・視環境	3.3
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	3.1
耐用性	3.2
対応性	3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.8
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

水資源	3.4
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.4
地域環境	3.5
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	BPIm : 0.72となっており、建物外皮の熱負荷抑制に取り組んでいる。また、補修必要間隔の長い外装仕上げ材、更新必要間隔の長い内装仕上げ材や配管を使用し、耐用年数の長い建物である。	その他 特になし。
Q1 室内環境	昼光率 : 4.61%	Q3 室外環境(敷地内) 植栽を施し、周囲のまちなみに調和した景観となっている。
LR1 エネルギー	BPIm : 0.72	LR3 敷地外環境 「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目、及び、「広告物照明の扱い」の配慮事項の過半を満たしている。
	Q2 サービス性能 補修必要間隔の長い、外壁仕上げ材や内装仕上げ材、配管を使用している。	
	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別可能になっており、OAフロアなど再利用できるユニット部材を用いるなど、解体時におけるリサイクルを促進する対策が取られている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0164

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)クリーンケミカル株式会社高槻コアセンター新築工事					
	建設地	大阪府高槻市成合南土地区画整理事業施行区域内					
	用途/区分	事務所 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.4	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.8	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		